

2026年1月26日

提言書

Netflix Entertainment Japan(同)
コンテンツ部門バイスプレジデント
坂本和隆

1. 制作環境の整備

クリエイターの安全性・公正性が確保された、創作に専念できる現場環境を整備する。

- 健全な制作現場の構築: 労働環境の改善、多様性の尊重、ハラスメント防止(リスペクト・トレーニング)の浸透、インティマシー・コーディネーター導入による出演者の尊厳と身体的・精神的な安全の保護
- 安全・安心な制作体制の整備: 年齢や立場に応じた配慮・支援として、チャイルドケアやユース・ウェルス・コーディネーターの活用

2. 人材育成

グローバル市場でも通用する制作体制を支える人材育成を進める。

- 各分野における専門人材の育成: 国際的に活躍できるプロデューサーに加え、制作技術や法務の専門人材まで含めた育成による、制作現場全体の底上げと産業全体の競争力向上
- 官民連携による実践的育成モデル: 民間の現場ノウハウと行政の支援施策を組み合わせ、即戦力育成のための研修枠組み

3. 海外展開・ローカライズ

現地の文化・ニーズの深い理解に基づく、日本発コンテンツの国際的な普及を推進する。

- 戦略的なローカライゼーション: 多言語展開を見据えた字幕・吹替、マーケティング、アクセシビリティ対応の最適化
- IP価値の最大化と経済波及効果: グローバル配信を起点とした原作売上の伸長と日本ファンの拡大
- 地域経済への寄与(地方創生): ロケ誘致や聖地巡礼を通じたインバウンド消費および地方活性化

制作環境、人材育成、海外展開の整備を三位一体で推進することで、コンテンツ産業の持続的な成長を実現し、日本の経済成長を牽引する。